

## デザイン仕様書

### ■内容

木を使ったモダンデザインのフロアライトの開発

### ■基本コンセプト

- ・ MARUSHO 独自の木材加工技術「ウェーブ加工※」を、より魅力的に表現するフロアライト。
- ・ MARUSHO 家具のある空間に足すことで、互いに魅力を引き立て合う上質なアートの要素を持つデザインのフロアライト。



「スカンジナビアンデザインをベースに開発した MORBIDO シリーズ」



「無垢材の魅力を最大限に生かし、最上級の質感で開発した NATURA シリーズ」

## ■具体的な仕様

### 【ベースとなるデザイン】

- ・他の家具や、照明自体のウェーブ加工に光を当てることで、加工面を魅力的に見せる間接照明デザインであること。



「光の当たり方で見え方が変わるウェーブ加工を施した家具」

- ・インテリアやオブジェとしての役割を重視した間接照明デザインであること。
- ・金属や石材などの異素材を組み込んだモダンアートな間接照明デザインであること。

### 【素材】

- ・ウォールナット無垢材：北米原産である広葉樹で、MARUSHO の家具シリーズの主材であるキャラクターマークをもつ無垢材。
- ・異素材（木材以外）： 真鍮やステンレスなどの金属の他に、石材や MORTEX（左官材）等が使用可能。

### 【技術】

- ・木工加工技術（ウェーブ加工・NC加工・無垢材積層による曲木等）
- ・塗装技術（オイル塗装、ポリウレタン塗装）

### 【価格帯】

- ・5万円～15万円程度。（価格差はバリエーション展開を想定）

## ■ターゲット・販売戦略

### 【ターゲット】

既存の顧客に加え、インテリアや居住空間に興味のある客層。

### 【販売戦略】

既存の取引先へのシーン展示提案を行い間接照明というプラス1アイテムの  
見せ方による販促展開。

照明単体としてのインテリア雑貨を取り扱う店舗、照明専門  
店舗などへの新規取引先開拓。

シーン展示についてはジャパンインテリア総合展、IFFT等の展示会にて空間  
演出をテーマにした新しいイメージング戦略として既存製品と併せた販売拡充  
につなげる。

また弊社が現在重要課題としているインターネット販売への販路拡大における  
プロモーション戦略においてのキーアイテム、ゲートアイテムとしての役割を  
もたせる。

## ■デザインに対する考え方とデザイン事業者への要望

弊社は福岡県大川市において婚礼タンスのメーカーとして始まり近年では主に  
脚物家具（ソファ、テーブル、脚付きのボード類など）を中心に受注生産体制  
を取っており、材料選びから仕上げまで木部に関して一貫して自社内で製造し  
ている。

北米原産の広葉樹（ウォールナット、レッドオークなど）の無垢材加工を得意  
としており、当社オリジナルのウェーブ加工などを特徴とした製品を開発してい  
る。これまでの製品開発はデザイナーからの原案をもとにウェーブ加工や長年  
培った技術とノウハウを使用し短期間で試作を重ねる開発方法をとってきた。

木材のもつ魅力を最大限に活かす意匠や仕上げに取り組んできたなかで、更な  
る付加価値を持たせるデザインをプラスしたいという思いを照明で実現したい。

2018年の大川市のPR事業「クラフトマンズデイ」にてイタリア人デザイ  
ナーと組んで大川組子を入れたソファ『KOMOREBI』を制作する際、外部の  
方とプロジェクトをすすめることで新しい発見や刺激、デザインの重要性を経験。



大川組子入り家具シリーズ「KOMOREBI」

今回はそこから一步踏み込んで、従来の製品との相互作用で魅力を引き出しあうということをデザインの力で実現出来ないかと考え、照明の製作をテーマとした。

私たちが知らない新しい MARUSHO の魅力を発見したい。将来への足がかりとして新しい技術や知識、異素材などを積極的に取り入れ、新しい市場を開拓する。弊社の現在の技術、思いを理解し幅広い視野でデザインを考えていただきたい。

■実施スケジュール（予定）

7月～ デザイン事業者公募

9月～ デザイン事業者決定

10月～11月 デザイン決定

12月～1月 一次試作

～2月 二次試作

～3月 最終試作及び製品化

■プロジェクト参画企業等

企業名：株式会社 丸庄

主な商品：木製ホームユース向け家具を軸に、特注家具や店舗什器等、幅広い範囲の依頼を受生産体制で製造、販売。

ソファ・テーブル・TVボード・チェア・チェスト・ベッドフレーム他

## ■ 語句説明

### ※ ウェーブ加工

ウェーブ加工とは木材における「キャラクターマーク」である節や入り皮といった特徴的な歪そのものがもつ個性や魅力を最大限引き出すため開発した技術で、職人が材料ひとつひとつと向き合い、長い年月をかけてできた特有の木目が次第に浮き立ち波打つ様を表現している。

具体的にはキャラクターマークをもつ板材をグラインダー形状のツールを駆使して節部分や特徴的な木目を浮き立たせるように粗削りし、4段階のペーパーサンディングにより丁寧に滑らかにしていく加工方法。